

TTC 山行実施記録表(提案)

2014年9月26日 報告者:稲生俊雄(1/2)

山行名	中ア木曾駒ヶ岳・空木岳 [2956/2864m 長野県]								
実施日	2014年9月13日(土)~15日(月) 2泊3日 (往路:ハイエース/帰路:公共交通利用)								
天候/参加人員	天候:9/13 晴れ時々曇り 9/14 晴れ後曇り 9/15 曇り時々晴れ レベル:★★★☆☆ 参加10名								
パーティスタッフ	CL/計画: SL: 会計: 救護: 写真: <b>スタッフ名削除</b>								
参加メンバー	<b>参加者氏名削除</b>								
費用	往路:ハイエース外¥16,848 ドラバ-謝礼¥18,000+早朝¥4,000+距離¥1,000=¥23,000 燃料代@150×410km/5km=¥12,300 高速代¥10,300(相模湖-駒ヶ根@5,150×2) 合計: ¥62,448 菅の代⇒しらび平(バス): ¥820×10人=¥8,200 しらび平⇒千畳敷(ロープウェイ): ¥1,210×10人=¥12,100 帰路: 林道終点⇒西山荘(タクシー: ¥2,980×3台=¥8,940) 西山荘⇒駒ヶ根駅(タクシー: ¥2,180×3台=¥6,540) 駒ヶ根⇒町田 (JR(特急): ¥6,160×10人=¥61,600) 山小屋: 宝剣山荘: ¥8,700×10人=¥87,000 木曾殿山荘: ¥8,500×10人=¥85,000 入浴料(西山荘): ¥500×10人=¥5,000 通信費: ¥2,000 <b>支出合計 ¥338,828</b> <b>収入合計 33,900×10人=¥339,000 差額 ¥172 ⇒ カンパ金</b>								
ガイドブック	歩行時間			休憩時間			行動時間		
	9/13	9/14	9/15	9/13	9/14	9/15	9/13	9/14	9/15
計画	2:45	6:40	6:15	—	—	—	—	—	—
実行	3:40	7:50	7:15	1:20	1:30	1:55	5:00	9:20	9:10
実行	1:57	7:34	6:56	1:18	1:34	1:21	3:15	9:08	8:17
<b>実行コースタイム記録</b>									
◆ 1日目 (累積標高差: 登り約 400m/下り 180m、歩行距離: 約 2.7km)									
(ハイエース) (食事) (ハイエース) (バス) (約 50分待ち) 本厚木 == 相模湖 IC == 談合坂 == 小黒川 == 駒ヶ根 IC == (西山荘) == 菅の台 == しらび平 3:55 5:00 5:08・5:40 7:40・7:50 8:00 8:12・8:20 8:50・9:46 (ロープウェイ) (準備) (徒 45分+休 5分) (昼食・小屋手続き) (35分: 中岳経由) (37分: 巻道経由) ~~~~~千畳敷 ~~~~~ 宝剣山荘 ~~~~~ 木曾駒ヶ岳 ~~~~~ 宝剣山荘(泊) 9:54・10:15 11:05・11:55 12:30・12:53 13:30									
◆ 2日目 (累積標高差: 登り約 590m/下り 960m、歩行距離: 約 7.6km)									
宝剣山荘 (徒23分) 宝剣岳 (徒41分+休10分) 極楽平 (徒164分+休15分) (昼食) 檜尾岳 (4:00起床) 5:27発 5:50・5:55 6:46 9:45・10:00 檜尾岳 (徒105分+休5分) (昼食) (徒96分+休5分) 東川岳 (徒25分) 木曾殿山荘(泊) 10:00 11:50・12:21 14:02・14:10 14:35着									
◆ 3日目 (累積標高差: 登り約 420m/下り 2050m、歩行距離: 約 11.3km)									
木曾殿山荘 (62分) 第一ピーク (37分) 空木岳 (8分) 駒峰ヒュッテ (27分) 駒石 (4:00起床) 5:38発 6:40・6:46 7:23・7:35 7:43・7:53 8:20・8:25 (徒88分+休9分) 迷い尾根 (69分) (昼食) (37分) 池山小屋 (66分) 林道終点 10:02 11:11・11:40 12:17・12:22 13:28・13:33 (22分) タクシー乗り場 (タクシー) (入浴・休憩) (タクシー) (JR) 駒ヶ根駅 == 八王子 13:55 14:25・15:35 16:21発 19:40着									

## ◆1日目(9月13日)

午前4時前に厚木のTSさん宅に集合し、3時52分に出発。途中、林、及川経由でちょうど5時に相模湖ICを通過。談合坂で食事・トイレ休憩をとり、最初順調だったが、笹子トンネルを出てから渋滞が始まる。当初10分で渋滞を抜けるとのカーナビの案内だったが、結局30分ほどかけて渋滞を脱出。事故渋滞で、乗用車が横転して燃えたらしい。運転手のIさんもあらためて安全運転を誓った。

この渋滞以降は、順調に進み途中小黒川SAに寄って、駒ヶ根ICをちょうど8時に通過。菅の台の西山荘に入浴セットを預けて、8時12分に菅の台バス停に到着。しらび平行のバスは思ったよりも混んでなく、臨時バスにスムーズに乗れ、8時20分菅の台発。山道を30分ほど揺られながら8時50分にしらび平のロープウェイ駅着。ここで整理券を受け取る。三連休の初日ということもあり混雑を覚悟したが、50分ほどの待ち時間でロープウェイに乗ることができた。7分半のロープウェイの乗車で標高2612mの千畳敷駅へ一気に上がる。上空は晴れているようだが、宝剣岳にはガスがかかっている。時々ガスが晴れ、紺色の青空の中に宝剣の岩峰が顔を出し非常に美しい眺めだった。荷物を整え準備体操を行い10時15分に登山開始。標高2910mの乗越浄土まではきつい登山が続く。途中休憩を入れながらゆっくりとしたペースで登る。千畳敷からの距離は意外と近く、11時過ぎには乗越浄土に着き、11時5分に宝剣山荘に到着。山小屋の受付で『今日は混んでいるので隣の天狗山荘の一室へ』と案内された。結果的に2階の一部屋(10畳ほどの個室)をあてがわれラッキーだった。各自昼食を済ませ、11時55分に木曾駒ヶ岳へ向け出発。中岳経由で12時30分に木曾駒頂上へ到着。ガスも晴れてきて、木曾御岳や明日向かう空木岳が良く見えた。また、宝剣岳はすぐ隣で頂上の岩に人が立っているのが良く見える。20分ほどのんびりした後下山開始。帰りは中岳の巻道を通り、13時30分に天狗山荘着。本日の予定はこれで終了、ということで、天狗山荘の1階で懇親会を開催。この後、17時から夕食。初日は皆さん朝が早いこともあり、夕食後、早々と寝る人もいて一日目が終了。

## ◆2日目(9月14日)

4時に起床。朝食はお弁当としてあり、各自まちまちで食事をする。身支度を整え、準備体操の後、5時27分に天狗山荘を出発。快晴で、非常に美しい日の出を見ることができた。日の出とともに南アルプス、八ヶ岳連峰、浅間山などが良く見える。鎖場を慎重に進み30分ほどで宝剣岳に到着。頂上が狭く10人もゆっくりしていられない事から記念写真も撮らずに早々に下山を開始。極楽平までの下山も鎖場・岩場の連続で慎重に下る。岩場を通り過ぎるとしばらく平坦な道が続く。両脇の草花には霜がびっしりでまるで雪が降ったようなイメージである。しばらく進んで檜尾岳に到着。檜尾岳から少し進むと、再び岩場が始まる。一度出したストックを再びしまつて、岩場を進む。岩場を登りきったところが熊沢岳。ここで昼食とする。宝剣山荘のお弁当や各自持ってきた食事でエネルギー補給を行う。熊沢岳を12時20分過ぎに出発し、上り下りを何度か繰り返して東川岳に到着。東川岳からは空木岳の岩峰が真正面に見ることができるようだが、この日は残念ながらガスがかかって全体の雄姿を見ることができなかった。

東川岳から20分ほど下って、14時35分に2日目の宿泊地木曾殿山荘に着く。到着後、受付を済ませ、近くの水汲み場(木曾義仲の力水)まで男性3名が向かう。懇親会の後、17時から夕食。20時消灯だが、この日もみんな早めに就寝に着いたようだ。

## ◆3日目(9月15日)

4時起床。4時45分に朝食をとり、5時38分に山荘発。朝焼けが非常に鮮やかで美しかった。ただし、上空は一面の雲。空木岳までは単調な急登で、ゆっくりとしたペースで進む。一時間ほどで空木岳の第一ピークに着く。少し休んで、再び登山へ。30分ほどで空木岳第三ピーク(本峰)に到着。北、南アルプス、富士山が良く見えた。風が強いため、すぐ脇の駒峰ヒュッテへ下山し、そこで改めて休憩を取る(トイレも有り)。駒峰ヒュッテを出てからしばらくすると『駒石』という、まるで大きな将棋の駒を積んだ様な景色に会った。こんな山の上でどうやってこのようなものができたのか、不思議な光景だった。下山道をさらに進み、迷い尾根を通過後、マセナギに到着。地図上では、“ヨナ沢ノ頭”があるが、気がつかなく通り過ぎてしまった。11時11分マセナギに到着。ここには看板があり分かりやすく、ここで昼食とする。(木曾殿小屋のお弁当はおむすびが2個)昼食後、池山小屋経由で林道終点に着く(13時28分)。ここでタクシーを予約する。林道終点からさらに20分ほど進んだ三本木地蔵でタクシーに乗る。西山荘で汗を流し、その後JR駒ヶ根駅へ。

駒ヶ根駅から岡谷経由で八王子に19時40分に到着。ここで解散とした。

## 【HMさんのお花の記録】

今回の山行では花の時期は過ぎており、目にすることができたのはトウヤクリンドウである。群生はしていないが、山行中いたるところに咲いていて疲れた私たちを癒してくれた。

また、ウラシマツツジやミヤマダイコンソウ、ナナカモドなどが美しく紅葉し、秋を感じることができた。他にも、ゴゼンタチバナやツリバナ、ガンコウラン、コケモモなどが実をつけ、さまざまなキノコも生えていた。

Wさんが、ヤマボウシやガンコウランの実を摘んで皆に食べさせてくれ、山のごちそうを味わうことができた。

どの季節でも山は素敵だということを感じた。

※気付き点：宝剣岳⇒空木岳⇒のコースは初めてであったが、道しるべ(道標や赤・白ペンキ)が少なく場所の確認がしにくい場面があった。今後行く人は注意が必要と感じた。